

通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くための文書

### 《研究課題名》

バイスタンダーの心肺蘇生開始時間による救急隊接触前自己心拍再開因子の検討

### 《研究対象者》

2007年より2023年までの期間に、本邦において院外心停止状態になり、救急隊により医療機関に搬送された方

### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の情報を総務省消防庁より提供を頂いた上で行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（４）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （１）研究の概要について

#### 《研究課題名》

バイスタンダーの心肺蘇生開始時間による救急隊接触前自己心拍再開因子の検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2028年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 救急集中治療医学講座 塩見直人

### （２）研究の意義、目的について

#### 《意義》

院外心停止患者においては、救急現場に居合わせた者（Bystander）による自動体外式除細動器（Automated external defibrillator: AED）の使用や Bystander による心肺蘇生法（Bystander cardiopulmonary resuscitation; BCPR）などの重症性が報告されています。しかし、今までの研究の多くは、1か月後の転帰や病院到着前自己心拍再開（Return of spontaneous circulation: ROSC）といった結果が評価対象とされており。これらは Bystander による手当の効果は間接的にしか評価していません。

#### 《目的》

そこで我々は、Bystander による手当の効果と直接反映する指標である救急隊接触時の ROSC を評価対象とし、BCPR 開始時間と BCPR による手当の効果との関係を明らかにすることを目的としています。

### （３）研究の方法について

#### 《研究の内容》

本研究は総務省消防庁に登録された、本邦にて発症した院外心停止患者のデータを、BCPR 開始時間と BCPR による手当の効果との関係を調査する滋賀医科大学救急集中治療医学講座が単独で行う研究です。

#### 《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

発症年、発生した都道府県、発症年月日、性別、年齢、救急救命士乗車の有無、医師乗車の有無、医

通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くための文書

師 2 次救命処置の有無、心停止目撃の有無、心停止目撃時刻、バイスタンダー種別、BCPR の有無、心臓マッサージの有無、人工呼吸の有無、バイスタンダー AED の有無、BCPR 行為が確定、推定、不明のいづれか、BCPR 開始時刻、口頭指示の有無、初期心電図波形の種別、除細動の有無、除細動の種類、初回除細動実施時刻、除細動実施回数、除細動実施者の種別、気道確保の有無、特定行為器具使用の有無、特定行為の種類、静脈路確保の有無、薬剤投与の有無、薬剤投与の時刻、薬剤投与の施行回数、時間経過、心停止の推定原因、心拍再開の有無、初回心拍再開時刻、救急隊到着時刻、1 か月後生存の有無、1 か月後の脳機能カテゴリー、1 か月後の全身機能カテゴリー

#### (4) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 救急集中治療医学講座 藤野和典

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2929

メールアドレス：hqqqicu@belle.shiga-med.ac.jp